

## 利益相反状態自己申告用紙(投稿論文用)

日本乳腺甲状腺超音波医学会編集委員会委員長 殿

本投稿論文は、企業あるいは営利団体がかわるものであるため、日本乳腺甲状腺超音波医学会の利益相反に関する指針に基づきここに申告します。

著者名: \_\_\_\_\_

論文名: \_\_\_\_\_

利益相反状態にある著者全員について、投稿時点の前の年から過去3年間および出版受理時点までの期間を対象に、発表内容に関する企業・組織または団体とのCOI 状態を著者ごとに自己申告

項目	該当の 状況	有の場合、企業名などの記載
① 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職などの報酬 (1つの企業・団体から年間100万円以上のものを記載)	(本人) 有・無	
	(親族) 有・無	
② 株式から得られる利益 (1つの企業の1年間の利益が100万円以上、あるいは当該株式の5%以上保有のものを記載)	(本人) 有・無	
	(親族) 有・無	
③ 特許使用料として支払われた報酬 (1つの特許使用料が年間100万円以上のものを記載)	(本人) 有・無	
	(親族) 有・無	
④ 会議の出席(発表、助言など)に対し支払われた日当、講演料など(1つの企業・団体からの年間合計50万円以上のものを記載)	(本人) 有・無	
⑤ パンフレットなどの執筆に対して支払われた原稿料(1つの企業・団体から年間合計50万円以上のものを記載)	(本人) 有・無	
⑥ 研究費(治験、共同研究、受託研究)、助成金など(1つの臨床研究(治験、共同研究、受託研究など)に対して、申告者が実質的に使途を決定し得る研究契約金の総額が年間100万円以上のものを記載)	(本人) 有・無	
⑦ 奨学(奨励)寄付金((1つの企業・団体から、申告者個人または申告者が所属する講座・分野または研究室に対して、申告者が実質的に使途を決定し得る寄附金の総額が年間100万円以上のものを記載)	(本人) 有・無	
⑧ 寄付講座(企業などからの寄付講座に所属している場合、寄付金の総額が年間100万円以上のものを記載)	(本人) 有・無	
⑨ 研究とは無関係な旅行、贈答品など(1つの企業・団体から年間5万円以上のものを記載)	(本人) 有・無	

①～③の親族とは、申告者の配偶者、一親等の親族、生計を共にする者をいう。⑥～⑨の金額は、開示すべきCOI 関係にある企業や団体などからの研究費、助成金、寄付金などに対して、申告者が実質的に使途を決定し得る総額を示している。

(本COI 申告書は発表後2年間保管されます)

申告日 年 月 日

申告者所属 \_\_\_\_\_

申告者名(署名、タイプは不可) \_\_\_\_\_